



ツインモアーによる草刈り作業

## 「ツインモアー」注目

### 畦畔、水路の草刈りに

三陽機器

トでき、広範囲に作業できる③アームを運転席右側方にセットすれ

農家へ提案営業できる恰好の商品と期待が高い。この「ツインモアー」は平成8年に開発されたアーム式草刈機で、現在、トラクタ3点リンク装着タイプの「B.M-36」で、トラクタ前装タイプの「T.M-26」の2種がある。トラクタに乗ったままアームを伸ばして作業が行え、田畑の畦、道路の路肩、水路の法面など広い範囲の草刈りを、楽に、効率よく行うことで人気を博している。

特に近年、経営規模の拡大が進むにつれ、高能率で省力的な作業が強く求められていること、また、農家の高齢化が進み従来の刈払機による草刈りが過酷な作業になりつつあることから、同機への関心が急激に高まっているもの。

更に、夏場の最も過酷な作業の一つが草刈作業であることから、作業請負も急速に進展しつつあり、コントラクターが同機を購入するケースも目立って増加している。

同社ではこうした流れを受け、実演と試乗による普及運動を展開中だが、大型展示会などでも同機への関心は格別。特に近年は、温暖化の関係で、カメムシ類の発生を抑える畦草刈りの徹底が叫ばれており、早くも春先から関心が高く、拡販に強い手応えを感じている。

【主な特徴】

- ①最大作業リーチは3.6m、遠隔の草刈も可能
- ②モアーの作業位置は運転席右側方、右側、後方、左側の4位置にセットでき、広範囲に作業できる
- ③アームを運転席右側方にセットす

三陽機器  
(株)寺前公  
平社長・岡  
山県浅口  
郡)発売の  
トラクタ用

アーム式2面草刈機「ツインモアー」が、休耕田の雑草刈りや斑点米カメムシの防除対策に威力を発揮して注目を集めている。

畦畔の雑草は、カメムシが本田に入り込む「ハシゴ役」。稲の出穂期前後、これを2〜3回刈り取り、ハシゴを外してやることが効果的な防除対

策となる。しかし広範囲にわたる「一斉草刈り」は、人手の問題もあり至難の技。人手をかけずに高能率に草刈りが行える同機はうってつけの機械となる。

特に今年はや暖冬傾向が続いたこともあり、カメムシ防除には万全の対策が必要。しかも同機は減農薬を実現することで、「農地・水・環境保全向上対策」の対象となり得ることが重なり、担い手

率で省力的な作業が強く求められていること、また、農家の高齢化が進み従来の刈払機による草刈りが過酷な作業になりつつあることから、同機への関心が急激に高まっているもの。

更に、夏場の最も過酷な作業の一つが草刈作業であることから、作業請負も急速に進展しつつあり、コントラクターが同機を購入するケースも目立って増加している。

## 技術

更に、夏場の最も過酷な作業の一つが草刈作業であることから、作業請負も急速に進展しつつあり、コントラクターが同機を購入するケースも目立って増加している。

2面刈りロータリモアーを採用。畦畔や道路路肩の上面と法面を同時に刈幅を水平にすると刈幅800mmの平面刈が可能。